センター的機能

埼玉県立川越特別支援学校

# コーディネーターだより

第２号

## センター的機能とは？

特別支援学校は、「地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たすよう努めること」と学習指導要領に明記されています。つまり、特別支援教育やお子さんの障がいに関することを何でも特別支援学校に相談できます。

## ～最初の相談窓口に～

**お子さんが困っていること、なんでも相談してください！たとえ本校で対応できない内容でも、他の機関や他の特別支援学校等につなぐこともできます。とにかく、最初の相談窓口として気軽にお声がけください！**

## 保護者の方からの教育相談

- **学校生活に関すること**
- **家庭生活に関すること**
- **子育てに関すること**
- **入学や転学に関すること　　等**

**電話やメールで**
**ご相談ができます！**

## 小中学校等の巡回相談

**巡回相談**

本校の職員が小中学校等を訪問して、生活や学習の様子を観察します。

**その後、支援や配慮について、**
**先生方と一緒に考えます！**

## 小中学校等への研修協力

**本校職員が小中学校等の職員研修に協力をします。**

最近以来の多い研修テーマ例

① ユニバーサルデザイン的授業作り
② 特別支援の技術を授業にいかす
③ プランＡ、Ｂの作成と活用
④ 合理的配慮とは　　等

## 特別支援教育に関する情報発信

本校のホームページを中心に、特別支援教育に関する情報を発信します！

県立川越特別支援学校公式キャラ
ごえもん

**埼玉県立川越特別支援学校　埼玉県川越市古谷上２６９０－１**
**（教頭または、コーディネーター宛）**

**お電話でのお問い合わせ**
**０４９-２３５-０６１６**

**メールでのお問い合わせ**
**kawagoe.kodi@spec.ed.jp**

特別支援教育豆知識編

ちょっとの工夫でみんながわかる！！

# 視覚支援と声掛けの工夫

## 1 視覚支援の工夫

言葉で伝えるよりも、絵や写真、文字、色分けなど、目で見てわかる形で情報を伝え、理解を助けるもの。
　特に、発達に課題のある子どもたちの理解力や見通しを立てるのを助けるために有効とされています。

## 2 声かけの工夫

具体的に。簡潔に。そして肯定的な言葉を使うことが大切です。また、視覚的な情報や、相手のペースに合わせた声のトーンや速さも効果的です。

**【声掛けの例】**

- **片づけて→「おもちゃを箱に入れよう」（具体的に、簡潔に）**
- **走らない→「歩こうね！」（肯定的に）**

肯定的な言葉は、発する人も受ける側の人も気持ちのいい言葉です！

進路についての豆知識編

# 中学校（中学部）卒業後の進路について

特別支援教育課程（高等部卒業資格）

### 川越市立特別支援学校

・卒業後は、就職を目指す生徒が多いです。
・療育手帳を必要とします。
・給食があります。
・自主通学

### 埼玉県立特別支援学校（川越市内であれば本校！）

・様々な発達段階の生徒が在籍しており、卒業後は、就職、福祉的就労を目指す生徒が多いです。
・自主通学または、スクールバス
・教員数が多く、サポートが手厚い
・療育手帳がなくても、受験可！

### 分校

・教科学習や職業教育中心
・卒業後は、就職を目指す生徒が多いです。
・療育手帳を必要とします。
・自主通学

### 職業学科

・職業学習の設備や機能が充実しています。
・卒業後は、就職を目指す生徒が多いです。
・療育手帳を必要とします。
・自主通学

通常教育課程（高校卒業資格）

・全日制高校（毎日通う、普通科、専門科、総合学科　等）
・定時制高校
・通信制高校
・通信制サポート校

自主学習やレポート提出を自分で行うこと。
学習の遅れ等で進級が難しかったり、卒業に時間を有することもある。